

たし絵

川合玉堂（1873~1957 年）

《深林宿雪》（1936 年制作）

愛知県に生まれ、少年期を岐阜で過ごした日本画の巨匠 川合玉堂の作品です。

墨の濃淡を活かし、樹木の写実的な描写や白く塗り残された雪の表現が見事です。

この絵を冬以外の季節に置き換えて表現してみよう。

ほかの きせつに かえて かいて みよう！

ゆきげしきを、はるや なつや あきの けしきにかえたら どんなえに なるでしょう。このえが ふゆとは ちがう きせつらしい けしきに なるようにいろいろなものを かきたして かいて みましょう！

わたしが かく きせつは
です。



なまえ

(さい)